

## 第2回 地域振興官民協働委員会議事概要

日 時	平成 25 年 7 月 12 日 (金) 15:30~17:30
会 場	佐渡市役所 3 階小会議室
出席者	委員：松田祐樹、渡邊啓嗣、鈴木涼太郎、中野奈美子 総合政策課：佐々木主任 地域振興課：藤原課長、加藤補佐、斉藤係長、有田主任、池藤主事
議 題	(1) 平成 25 年度 事業計画の実施について ① ワークショップ（達者・赤泊）について ② 視察研修について ③ 勉強会について (2) その他意見交換
議事概要	<p>(1) 平成 25 年度 事業計画の実施について</p> <p>① ワークショップ（達者・赤泊）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 今年度のワークショップは、相川（達者）と赤泊で3回、羽茂で1回、相川（七浦）で1回、相川（七浦・達者・高千）でコミュニティペーパー作りをテーマに1回開催する。</li> <li>■ 相川（達者）と赤泊に関しては、9月末から10月に開始し、3週間～1ヶ月のスパンで実施したい。</li> <li>■ 赤泊と達者はやる気があるが、やり方がわからない。そこで、まちづくり学校のノウハウによりワークショップを進め地域の魅力の再確認や積極的な地域活動に関する意識啓発を図る。</li> <li>■ 地域の人々が主体となるため、佐渡市地域振興官民協働委員会のメンバーはオブザーバーの立ち位置だが、積極的に参加してもらおう。</li> <li>■ 今年度の当委員会の活動としては、羽茂地区の能合宿と北片辺のコミュニティビジネスが2本柱である。</li> <li>■ 羽茂の能合宿では、どうしたら大学生を呼び込めるのか、地元の人はどうなって欲しいのか、これを模索するワークショップを考えている。9月以降に実施する予定。</li> <li>■ 七浦地区では、首都大学などが入る廃校プロジェクト（夏学校）を実施している。また、子供たちと大学生が休憩できるようなコーヒーショップなどを作るためのワークショップを考えている。</li> <li>■ 渡辺さんは、地域紙（コミュニティペーパー）を情報発信のために発行したいと考えている。このコミュニティペーパーは地域活動支援員と地域おこし協力隊で協力しながら作成する。10月後半から開始したい。</li> <li>■ 情報発信をするときにネットを使用するので、地元で情報がわからないのが現状である。</li> </ul>

- コミュニティペーパーは立派なものではなく、簡易的なものでいい。
- コミュニティペーパーを作ることが目的ではなく、ワークショップをやった結果として、コミュニティペーパーができるというように進めたほうがよい。
- 相川（高千）コミュニティペーパーを作る体制整備が必要。最終的には、相川地域を統合して、編集し、発行したいことから相川地区の地域支援員・地域おこし協力隊・支所、連絡所の地域支援業務に携わる職員を対象にワークショップを開催したい。

## ② 視察研修

- 中越は、コミュニティビジネスが進んでいる。
- 中越の問題として、50軒あった家が20軒ほどに減少してしまっている。年配の方が多くなってしまっている。
- 先進地視察をすると、コピーするのが目的になってしまう。そうすると、継続が困難になってしまう。
- 現地の方がオススメする場所ではなく、自分が見たい所や気になっている所を見ることが重要である。
- 佐渡は資源などに恵まれていることを再認識すべきである。やれるのにやっていないのが現状。

## ③ 勉強会

- 勉強会は3回実施する予定。
- 鈴木先生に講師を頼み、佐渡の観光について講演してもらう。松田さんも対応可能。
- 視察研修も勉強会の1つとする。
- 渡辺さんが進めている、サザエご飯の視察に高千地区に行く。

## (2) その他意見交換

- 大学連携事業として、市から大学に、祭りの手伝いや、豊岡地区で作ったものを新潟で販売してほしい。